

血液は物語る

和田 千藏

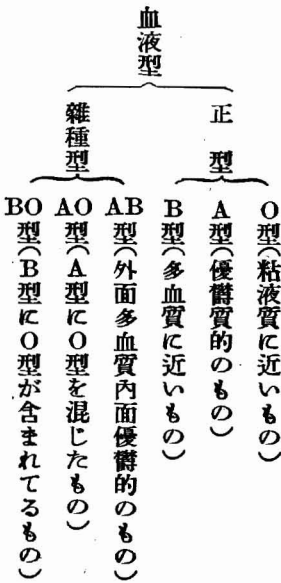
一滴の血液を學問的に調べてみると、人生に極めて重要な事柄を物語ることが判る。即ち健康體であるか否かは勿論、氣質との關係をも推知することが出来る。これから血清學的の理論は省き主に血液型と氣質との關係につき、私の考察した事項をお話さして戴きます。

昭和二年に古川竹二氏が血液型と氣質と題する著書を公にし、又血液型研究といふ月刊雜誌が發行されてゐますから、大方の士は血液型は氣質に關係することを既に了知のことと思ひます。私は生理學の教材にある血液型を教授する際、數回各生徒の血液型を檢査し、輸血に關する知識を與へて居りますが、その檢査人員は職員や他の人を加へ今年でやつと二八〇人になりました。そこでこれを氣質と結びつけるのは科學的ではないが、古川氏の提唱する血液型の特徴を經とし、私の日常觀てゐる生徒の氣質を緯とし、材料不足のため平均誤差を十分に調べて考察して見ました所、その細かな點に至つては古川氏の説とはどうしても合はない。故にモルガンの值切法則 (Law of Parsimony) によりこれを大局から觀ると、本校生徒では大體古川氏の特徴に一致してゐる様である。これは科學的根據のないもので觀方と取扱によつて、八卦の様に偶然あたるものであるが、全然見捨つべきもの

ではないと思ふ。殊に教育に従事する者はこれに關する知識があると、子供等の教養上にも職業の撰擇や人を世話する時等にも非常に便利な事がある。

(一) 血液の分類と遺傳

血液型とは人間同志の血清と赤血球との間に起る凝集反應をいふので、一九〇一年カルル・ランドスタイネル(一九三〇年度のノーベル賞受く)によつて血液型分類の基礎が築かれたのである。而してこの分類は學者によつて非常に亂雜して居つたので、一九二八年萬國聯盟保健部第三回標準委員會で、血液型をA、B、O(ゼロ)、ABの四種(ズンゲル及ヒルシュフェルドに従ふ)に分類することに決定された。この分類は合理的な分け方であるが、實際多くの數を取扱つてみると、上記の外にも雜種型がある様に思はれるから、私は便宜上次の如く分類しても悪くないこととして居ります。



血液型は不變性で終生變ることがない。但し胎内の子供は凡てAB型であるから、月足らずで生れる子供では當分の間AB型であるが、後所定の型になることがある。

血液型はメンデルの法則によつて遺傳することが明かになつてゐる。子供がA型であると父母の何れかが必ずA型で、A型でなかつたとすれば絶対にA型の子が生れないから、現今法醫學上親子の鑑定に應用される様になつてゐる。今親子間の遺傳關係を示すと次の如くなる(古畑博士)。

| | 両親の組合せ | | 子の血液型 | | 否定すべき血液型 |
|------|--------|----|----------------|----|----------------|
| (10) | AB | AB | A、 B、 | AB | O |
| (9) | B | AB | A、 B、 | AB | O |
| (8) | A | AB | A、 B、 | AB | O |
| (7) | O | AB | A、 B | AB | O、 AB |
| (6) | A | B | O、 A、 B、 | AB | A、 AB |
| (5) | B | B | O、 | B | A、 B、 |
| (4) | A | A | O、 | A | B、 AB |
| (3) | O | B | O、 | B | A、 AB |
| (2) | O | A | O、 | A | B、 AB |
| (1) | O | O | O | | A、 B、 AB |

この様な關係で父母の血液型が判ると、子供の血液型も豫想することも出来る。而して兄弟は全部同型であるとは限らない、兄はB型で弟はA型の例も往々見受けます。

(11) 血液型検査

血液型をきめるには血滴に試薬を加へて凝集反應をみるのである。試薬には色々な種類があるが、私の使用しているのは大阪の武田長兵衛商店販賣の「アポテスト」で、この特點は使用に便利で値段も安いといふことである。これはA、Bの二液で一組の「アムブル」となり、それに小型ビベットが二本附いてゐる。實驗の際はA液をAビベット（何れも茶色）B液をBビベット（何れも無色）に移し入れ、次に指の背面と針尖を酒精で消毒してから、針でさつと突き粟粒位の出血を材料とし、これをスライド硝子にA、Bの二ヶ所に極僅かつける。それに試薬の極少量を注加するのだが、Aの所にある血にはAの試薬Bの所にある血にはBの試薬を注加し、直ちに別々の尖がつた硝子棒で攪拌すると血液の凝集が現はれる。即ちA液で凝集しB液に反應がなければその人の型はAで、反對にB液で凝集するとB型である。又A Bの兩方が凝集するとAB型、A、Bの兩方が凝集しなければO型といふのである。この場合にAが反應を現はすに長時間を要する時にAO型、Bの反應遅ければBO型とするのである。試薬があるとスライド硝子がなくとも他の硝子片でも使つて極簡単に検査が出来る。所が試薬を準備されない場合には、既に検査済のA型の人とB型の人から採つた血液で鑑別する。即ちA型の血液で凝集しB型の血液で凝集しなければB型で反對の時にはA型である。又兩方凝集すればAB型、兩方反應がなければO型と判定するのである。この實驗に際し「アポテスト」に附屬してゐる枸橼酸曹達液を採つた血液に注加すると、血液の自然凝固を防ぐ效がある。因みに「アポテスト」の名前はA、B、O、をテストする意味から附けられたものでABOTESTと綴つてある。この試薬の主原料は濕性肋膜炎患者からとつた水だと聞いてゐる。それから採血後の傷口には直ちに沃度丁幾で消毒し、開封したアムブルの殘液は疥瘡膏で密封し、冷暗所に貯へ一週間以内に使

用してしまふ様にしなければ無効になる。

(三) 氣質と血液型の観方

A型の人は概して溫和従順、反省的、慎重細心(用心深い)、實直(責任心強い)で、同情心、犠牲心に富み融和的(人と論議を好まない)な點は特徴になつてゐるが、缺點としては意志弱く内氣で遠慮深く決斷力に乏しく物事をきめる時に迷ひ、深く感動し物事を氣にかけ悲觀的感情に動かされ易い。教養のない者は疑ひ深く人を呪ふ様なことをする。

A型と職業との關係を見るに銀行家が最適であるが、細心慎重を要する凡ての參謀となるにも最適である。

B型の人は氣軽く淡泊、明朗快活(陽氣)、活動的でよく談ずる、刺戟が來ると即應し敏感で、社交的で氣輕に人と交り、人の世話をよくする等派手に事をする特徴がある。缺點としては教養のない者は移り氣、輕薄で派手に事を發表したり計畫したりする風があり、多辯でどうもすると出過ることが多く、信用が出来ないなどといはるることがある様である。

この型は實業家やスポーツマンに多く、女は快活で愛嬌を要する女店員に恰適してるといはれてゐる。

O型の人は一般に落ついて自信力が強く、意志強固で決斷力に富み精神力旺盛理智的で、事を決したら迷はない。感情に驅られないきかぬといふ特徴がある。缺陷としては頑固で妥協性乏しく冷靜冷淡に陥り易い結果、教養のないものは強情頑固で押が強いなどといふ方面も兼ね、時には無謀な殘忍性を發揮することがある。

O型は現今では一番好い型といはれてゐる。この型の人は政治、家外交官等に適するといふのは、ヒットラー、ムツゾリーニや近衛公爵等はO型であるからだが、これを廣く調べて見ると矢張りこの型から人物が出てゐるこ

とが判る。陸軍大學出身者の大半はこの型の人で、長崎醫科大學に學位を受くるために留學する者は八分通りO型であつたと聞いてゐる。又女は職業婦人に適するとされ吉岡彌生、竹内茂兩女醫はO型なそうである。私は本校生徒中おとなし相でも落つて入に餘り左右されない者を調べてみるとO型になつてゐるので、殊に晩學の専攻科生や文理科講習に乗出し、立派な成績をあげて行く者は九分通りO型であつたから成程この型の人には適當の環境を與へて十分伸ばして見度いものと考へてゐる。

AB型は外面がB型で内面はA型で氣質に矛盾あつて判斷し難い型だが、内省させて見るとA型的氣質に共鳴を感じる人が多いといはれてゐる。一般に潔癖で氣向きの傾向が認められる。

AO型の人はA型にO型が混じてゐるため、時々O型の特徴を發揮することがある。

BO型の人はB型にO型を含んだものだから、B型だがO型の様な人だと見られる。

上記の血液型が氣質とは常に適合するとは限らないが、時々妙に参考となることがあるから、近頃は結婚の要素として取扱はれる様になつて來た。即ち夫婦は同型でない方が理想的である。同型であると家庭は圓満に納まらない。男はO型なれば女はA又はB型は理想視されてゐる。夫婦間の氣質の長短は緩和されるからだといはれるが、これ迄の例を見ると同型の夫婦間には子が出來にくく、異型の夫婦間には出來易いとされてゐる。

尙兄弟、友人、師弟乃至主従の間に仲の悪いことも往々あるが、これも血液型の異同によることが多く、恰度輸血の禁忌關係の様である。

(四) 輸血者及び血液型の人類學的意義

氣質と血液型との關係を御話した序に輸血者の撰擇と血液型の人類學的意義を一寸附加しておきます。

輸血する時には給血者が親子兄弟だから誰れでも結構といふわけには行かない。何んでも受血者と同型な近縁の健康な壯年なら理想的である。給血者は黴毒、肺結核の様な傳染病や腎臟等を患ふた者では健全でもよくない而して型の關係はO型は萬能給血者と呼ばれてるが、受血はO型以外には適しない。A型はA、O兩型からB型はB、O兩型から受血するが、AB型ではAB、A、B、Oの各型から受血することが出来るから萬能受血者といはれてゐる。輸血は一〇〇蚝の血液を五分間位に徐々に入れるのである。

血液型の人類學的意義を現はすにはヒルシュフェルド(一九一九)の生物化學的人種系數即ち $\frac{A(\%) + AB(\%)}{B(\%) + AB(\%)}$ を以てする。英國人は四・五、瑞典人三・三、佛蘭西人三・二、伊太利人三・〇、濠洲人四・六、獨逸人二・一(伯林人)、露西亞人一・三、北米人三・五、北米合衆國人三・七、亞拉比亞人一・五、印度支那人〇・八、東印度人六・一、フィリツピン人〇・七、支那人一・二、滿洲人〇・七五、朝鮮人一・一、日本人一・三となつてゐるが、これを日本につき地方的に示すと次の様になる。

| 地方 | 研究者 | 調査例數 | O型(%) | A型(%) | B型(%) | AB型(%) | 人種系數 |
|------------|-------|------|-------|-------|-------|--------|------|
| 北海道 アイヌ | 岸 | 二〇五 | 三七・〇 | 二四・四 | 三二・七 | 五・八 | 〇・七八 |
| 北海道 | 青木、久保 | 七五五 | 三七・二 | 三三・三 | 一九・六 | 九・八 | 一・四〇 |
| 青森 岸 | | 九六 | 三五・八 | 三一・三 | 二二・三 | 一〇・四 | 一・二〇 |
| 秋田 岸 | | 二五一 | 三一・四 | 三四・二 | 二四・七 | 九・五 | 一・二〇 |
| 盛岡 岸 | | 三八六 | 三四・九 | 三六・七 | 二二・〇 | 六・二 | 一・五〇 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|
| 青森師範 | 沖繩 | 鹿兒島 | 熊本 | 福岡 | 長崎 | 京都 | 大阪 | 岐阜 | 愛知 | 長野 | 東京 | 金澤 | 新潟 | 仙臺 |
| 和田 | 桐原 | 岸 | 古市 | 深町 | 古市 | 中島 | 小山田 | 岸 | 河石、古橋 | 原 | 水沼 | 岸 | 宮路 | 二ノ宮 |
| 一二一 | 二六四 | 一五五 | 一三〇 | 一七〇 | 一〇五 | 五〇九 | 五六〇 | 二〇九 | 一一六一 | 三五三 | 二三〇〇 | 七七五 | 一七八六 | 六四二 |
| 二九・五 | 二三・七 | 二二・二 | 二二・三 | 二四・一 | 二六・四 | 二八・七 | 二八・二 | 二七・二 | 二八・〇 | 二四・四 | 三一・四 | 二六・二 | 三〇・二 | 二九・四 |
| 三六・二 | 三七・二 | 三六・一 | 四七・七 | 四五・三 | 四五・七 | 四一・七 | 三九・二 | 三七・八 | 三九・八 | 四〇・五 | 三六・一 | 三六・〇 | 三七・八 | 三九・三 |
| 二七・一 | 一九・三 | 二〇・六 | 一四・六 | 二〇・二 | 一七・一 | 二〇・二 | 二二・三 | 二三・九 | 二一・六 | 一六・〇 | 二二・三 | 二三・四 | 二二・四 | 二一・五 |
| 七・二 | 九・八 | 一一・六 | 一五・四 | 一〇・六 | 一一・四 | 九・四 | 一〇・一 | 一一・〇 | 一〇・六 | 二〇・〇 | 九・七 | 一四・四 | 九・四 | 九・八 |
| 一・二七 | 一・六〇 | 一・五一 | 二・一〇 | 一・八〇 | 二・〇〇 | 一・八〇 | 一・五二 | 一・四〇 | 一・五五 | 一・七〇 | 一・四三 | 一・三〇 | 一・四〇 | 一・五〇 |

上表によつて見ると日本に於ては九州、四國、中國地方の人にはA型の頻度が大で、近畿、北陸、關東、東北地方に行くに従つてA型の頻度が減少し、B型の頻度は比較的大で中國、四國、九州地方は比較的少ない。O型の頻度は東北、關東地方が大で九州、四國地方には比較的少ないことが判る。即ち日本の生物化學的人種系數は南方に於て高く熊本、長崎等では獨逸伯林人と似てゐるが、北方に至るに従つて低くなりアイヌの如きは滿洲やフィンツピン人に似てゐる。

青森師範學校生徒の血液型は、人種系數に於て一・二七で日本人固有の一・三に近似してゐるが、これを出身地の津輕、南部兩地方別にしてみると次の様になる。

| 地方別 | 血液型 | 検査人員 | A (%) | B (%) | AB (%) | O (%) | 人種系數 |
|-----|-----|------|-------|-------|--------|-------|------|
| 津 | 輕 | 一五六 | 七七・〇 | 六八・〇 | 六九・〇 | 六六・〇 | 一・一〇 |
| 南 | 部 | 六五 | 二三・〇 | 三二・〇 | 三一・〇 | 三四・〇 | 〇・八六 |

材料が不足であるが兩地方によつて上記の如き差異が出來てくる。この場合南部地方のA型頻度が著しく少ないため $\frac{A+B}{B+A+B}$ の分母が大となり人種系數が小となつたのである。又津輕地方のA型頻度が比較的大であつたが爲に稍々標準型を示したに過ぎない。更に細かく立入つて各級別に調べてみると、最も特徴を發揮してゐるのは三年級で、検査人員四六名(三名欠席)中、A型一五(三二・六%)、B型一二(二六・九%)、AB型一(〇・二%)、O型一八(四〇%) $\frac{A+B}{B+A+B}$ 一・二二を示し、級友の一致團結固く不言の下に活動して居る。この級にして大半O型でABは僅か一人であることは偶然の現はれであるが先づ珍しい。

(五) 結 論

血液型の中でどの型が一番よいでせうかと質問を受けることが多いが、各型に長所、短所があるから型に等級をつけることは無理であるし、又等級がつくと社會の秩序を破壊する憂がないとも限らない。性質に於ては教養によつて長短が調節されてゐるため、教養のある者ではその型の特性と全く變つてゐる。殊に上流の婦人間に於て然りである。尾崎行雄博士の如きはA型であるが、奮闘と修養の力によつて全くO型の特性を發揮した模範の一人者である。これに似た例は一般の人にも随分見受けられる。故に自分の型を知り他の型を羨み縮命的に考へたり悲觀したりするものではない。而して吾々は自分の型に囚はれない様にし、その欲する型の長所を以て欠點を補ふてゆくことに努力することこそ意義深いと思ふ。又子弟の教育に當つては各個の血液型を檢し兒童、生徒の氣質を調査し、油斷なく各型の長所は伸ばし短所を捨て、他の長所を接氣してやる事にして貰ひ度い。

人間本來の一生が遺傳質で定まつてゐるといふこと宜しい。デモクリストスは人間本來の性質が運命であるといふたが、この運命は今の血液型であるといふことになる。又ハツクスレーは遺傳の一オンスは教育の一噸に値すと主唱したが、教育は環境を改善する意味に於て、次の代には頗る有効に働くものであるから、血液型生來の短所は教育の方法宜しき時は十分に改善することが出来る。

要之血液型と氣質との關係につきては、これに反對する學者も少からずあるが、偶然にも當ることが多いからこれを調べて教養上の参考とすることがむしろ必要である。又本縣人の血液型は生物化學的人種系數上日本固有の系數に近いから、指導方法の宜しきを得る時には、凡ての點に於て他に劣らぬ能率を發揮することになるとして本稿を結ぶ。(一三・七・一五)